

第61回

森が育む あなたの心 森を育む あなたの手

全国植樹祭 かながわ 2010



基本計画〔概要版〕



神奈川県

I 開催概要

1 開催方針	1
2 開催理念	1
3 大会テーマ	2
4 シンボルマーク	2
5 大会ポスター原画	2
6 開催時期	3
7 主催	3
8 開催規模	3
9 開催会場	3
10 開催地概要	4
11 参加者行動計画	5
12 医療・衛生計画	6
13 消防・防災、警備計画	6
14 実施本部計画	6

II お手植え・式典行事計画

1 基本的な考え方	7
2 演出概要	7
3 式典進行スケジュール	8

III 植樹行事計画

1 基本的な考え方	9
2 お手植え樹種	9
3 お手播き樹種	9
4 代表者記念植樹	9
5 参加者記念植樹	9

IV 会場整備計画

1 基本的な考え方	10
2 施設イメージ図	10

V 宿泊・輸送等計画

1 基本的な考え方	11
2 宿泊計画	11
3 輸送計画	11
4 視察計画	11

VI サテライト会場計画

1 基本的な考え方	12
2 開催概要	12

VII 県民運動計画

1 基本的な考え方	13
2 県民運動を促進する、神奈川力について	13
3 運動の推進組織	13
4 記念事業	14
5 関連事業等	14

VIII 広報・協賛計画

1 基本的な考え方	15
2 広報計画	15
3 協賛計画	15

資料 1

かながわ森林再生50年構想	16
---------------	----

資料 2

全体スケジュール	17
----------	----

1 開催方針

(1) 開催意義

本県には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで、県土の40%近くを占める、約95,000㍍もの森林があります。

しかしながら、近年、標高800メートル以上の奥山では、ブナやモミの立ち枯れや風衝地等不適地への造林による荒廃が目立つようになり、その下に広がる標高800メートルから300メートルの山地や標高300メートル以下の里山では、スギやヒノキの人工林、広葉樹林を問わず、手入れ不足等で下草がなくなり表土が流れ出すなど、県内各地で森林の荒廃が進んでいます。

一方、森林に対する県民の期待は、木材や燃料の提供といったことから、降った雨を蓄え、ゆっくりと流すとともにきれいでおいしい水を育む水源のかん養や、山崩れや土砂の流出を防ぐ災害の防止、野生生物との共生、さらには都市に住む人々の潤いや安らぎなどに大きく変化してきています。

これに加えて、花粉症問題の深刻化に伴い、花粉の主な発生源であるスギやヒノキの人工林に対する施策が、強く求められるようになっていきます。

こうした状況を踏まえ、本県では、平成19年度から「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づく「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」による特別対策をスタートさせ、水源の森林づくり事業の加速化などを図るとともに、さらに、今後、半世紀をかけ、「かながわ森林再生50年構想」により、荒廃森林の解消と混交林の拡大を図るなど、森林を抜本的に再生していくこととしています。

平成22年の全国植樹祭は、50年後の神奈川の森林の新しい姿を県民全体で共有し、協働して取り組む本県の森林再生を、全国に発信しながら、さらに前進させる大きな節目として開催するものです。

(2) 計画における共通事項

■環境への配慮

計画全般にわたり、準備の段階から、CO₂の排出量削減や廃棄物減量化（ゼロエミッション）するため、地元産品を使用するなど、地球環境に配慮した大会とします。

■おもてなし

会場は、すべての参加者が安全、快適、清潔に過ごせるよう、ユニバーサルデザイン※に極力配慮し、招待者におもてなしの心でサービスを提供します。

■神奈川らしさ

全国植樹祭や開催までに実施する各種イベント等は、「かながわ」の特色を十分に生かした内容とします。

※ユニバーサルデザイン

障害者、高齢者、健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。

2 開催理念

全国植樹祭の開催を通じて、森林再生に向けた神奈川の取組を発信し、全国との交流を図ることにより、本県が目指す森林再生の姿と手法を、より一層確実なものにするるとともに、県民協働のうねりを高めて、誰もが森林と積極的な関わりを持ち、その恵みを実感できる社会の実現を目指すこととします。

3 大会テーマ

森が育む あなたの心 森を育む あなたの手

● 作者 宗像 洋明（むなかた ひろあき）さん 横浜市



4 シンボルマーク



● 愛称

「かなりんちゃん」

● 制作意図

樹で「ハート」を高く掲げ、手で樹を大切に植える「かなりんちゃん」の姿を通して、第61回全国植樹祭の大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現しました。また、愛称の「かなりんちゃん」は、神奈川の（かな）と森林の（りん）をかけあわせて、愛称としました。

● 作者

大阪府
河野 通（こうの とおる）さん

5 大会ポスター原画



● 画題

「温かい緑」

● 制作意図

テーマの「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現するため、みんなが笑顔で、手の平に描いた葉の模様を見せ合っている所を表現しました。みんなの手でハート形がつけられていることで心を表しました。

● 作者

神奈川県立小田原城北工業高等学校 3年
井上 美紀（いのうえ みき）さん

6 開催時期

平成22年春季

7 主催

社団法人 国土緑化推進機構

神奈川県

8 開催規模

(1) 参加区分

参加区分	参加予定人数	備 考
両会場招待者	30人	国務大臣、県議会議長、次期開催県知事、開催会場市長等
県外招待者	1,470人	国関係者、被表彰者、他県参加者等
県内招待者	4,000人	県議会議員、市町村関係者、緑化関係団体、公募参加者、県実行委員会委員等
招待者計	5,500人	
スタッフ	2,500人	実施本部員、協力員、出演者・出展者等
小 計	8,000人	
サテライト会場参加者	145,000人	来場者
総 計	150,000人以上	

(2) 植樹・式典会場別による参加区分

参加区分	人数	植樹会場	式典等会場	移動手段
両会場招待者	30人	-	丸太の森→秦野戸川公園	乗用車等
県外招待者	1,470人	秦野戸川公園	秦野戸川公園	バス
県内招待者	2,000人	秦野戸川公園	秦野戸川公園	バス
	1,000人	丸太の森	秦野戸川公園	バス
	1,000人	丸太の森	丸太の森	バス
合 計	5,500人			

9 開催会場

■お手植え・植樹会場

会場設置市：南足柄市

南足柄市足柄森林公園丸太の森地区（南足柄市広町）

■式典・植樹会場

会場設置市：秦野市

県立秦野戸川公園地区（秦野市堀山下・戸川・横野）

■サテライト会場(会場設置市町)

横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市、小田原市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、葉山町、山北町、開成町、湯河原町

■荒天会場

秦野市総合体育館

11 参加者行動計画

時刻	全体進行		招待者別行動計画					
	丸太の森	戸川公園	両陛下	両会場招待者 30人	県外招待者 1,470人	県内招待者		
						県内招待者1 2,000人	県内招待者2 1,000人	県内招待者3 1,000人
5:00								
6:00							指定集合地	
7:00					宿舍	指定集合地	↓ バス降場	
8:00	記念植樹	記念植樹		↓ お手植え会場到着 受付 着席～9:40	↓ バス降場 植樹会場 (秦野戸川公園地区)	↓ バス降場 植樹会場 (秦野戸川公園地区)	↓ バス降場 記念植樹 (丸太の森地区) ↓ バス乗り場 ↓ 式典会場到着	↓ 指定集合地 ↓ バス降場 ↓ 入場チェック (お手植え会場) 着席～9:40
9:00					入場チェック(式典会場) 8:00～10:20			
10:00	プロローグ	お手植え行事 (中継)	御着	特別招待者席 (お手植え会場)	着席 ～10:25 会場内でお手植え行事中継を視聴			一般招待者席 (お手植え会場)
10:25	お手植え行事		お手植え行事					
10:50	エピローグ		御発		再着席 11:15まで			
11:00	2会場連携セレモニー(双方向中継)		↓ 御着	離席 11:00～ ↓ 着席～11:35	一般招待者席 (式典会場)			植樹会場 (丸太の森地区)で植樹
11:45	式典行事 (中継)	プロローグ	御着	特別招待者席 (式典会場)				
12:00		式典行事	式典行事					
12:26		エピローグ	御発					(式典映像を放映)
13:00			行幸啓へ		離席 13:10～			昼食(会場内)
	記念植樹			昼食(昼食場)	昼食(原則、会場内)			植樹会場 (丸太の森地区)
14:00					バス乗り場			
				↓ 解散地	↓ 解散地・視察等	↓ 指定解散地	↓ 指定解散地	↓ 指定解散地

※詳細については、今後調整の上、決定します。

12 医療・衛生計画

- お手植え会場、式典会場及び各植樹会場に救護所を設置し、傷病者の医療救護に努めます。
- 保健所等の協力を得て、食品衛生や環境衛生について、関係機関と協議を行い、衛生対策体制を整備します。
- 飲料等の廃棄物の適切な処理を行い、各会場及びその周辺の環境美化に努めます。

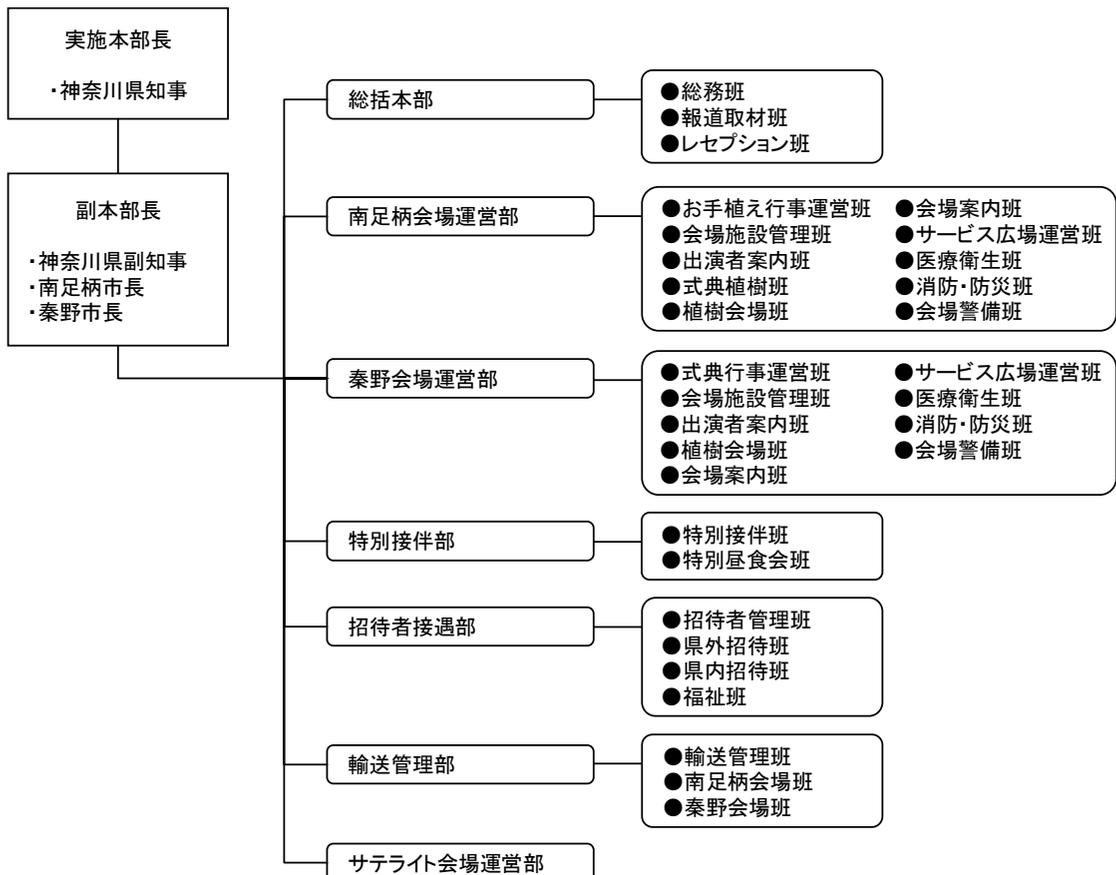
13 消防・防災、警備計画

- 実施本部の消防・防災班が中心となり、異常の早期発見、通報に努めます。
- 会場内は、受動喫煙を防止するため、喫煙所を除きすべて禁煙とし、主要施設には消火器を設置します。
- 会場内での事件・事故を防止し、全国植樹祭の円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 各会場の入場ゲートでは、金属探知器による持ち物検査や入場者の確認を行います。

14 実施本部計画

全国植樹祭の円滑な運営のための実行組織として、「第61回全国植樹祭神奈川県実施本部（仮称）」を設置します。

■実施本部組織図（案）



1 基本的な考え方

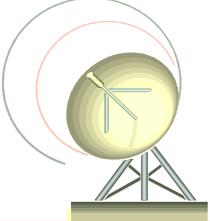
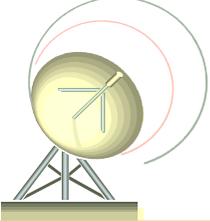
- 県民との協働による森林再生などを強くアピールし、参加者の心に残る内容になるよう、開催意義や開催理念を全国へ発信します。
- 式典は、簡素化を図りながらも、にぎわいがある中で、厳粛で品格があるものとします。
- 森林ボランティア、子ども、高齢者、障害者等を含む、多くの県民が、参加できるよう配慮します。
- 式典の運営は、来場者の安全性、快適性に十分配慮し、NPOや森林ボランティア、緑の少年団等の協力を得ながら、おもてなしの心を持って行います。
- 司会者、式典進行介添え役、音楽隊、アトラクション等の出演者については、地元団体をはじめとする県内関係団体等の積極的な協力と参加を得て編成します。

2 演出概要

お手植え行事、式典行事の演出は、プロローグ、お手植え・式典、エピローグの3部構成とします。

会場	区分	演出テーマ	内容
お手植え会場 (足柄森林公園 丸太の森地区) 箱根外輪山の森林の中で、しずかなたたずまいを見せるお手植え会場は、穏やかで、厳かな雰囲気を持っています。 お手植え会場では、この雰囲気を活かした演出を行います。	プロローグ	ようこそ やさしさあふれる 神奈川の森へ	○参加者を歓迎する気持ちを表現します。
	お手植え	はじめよう 心をこめた森づくり	○天皇皇后両陛下のお手植え、代表者記念植樹等を行います。
	エピローグ	神奈川の魅力を あなたに発信	○地元団体をはじめとする多くの人が参加するアトラクション、神奈川の豊かな自然（森～川～海）や、文化、森林、林業、木材産業の紹介などを行います。
式典会場 (秦野戸川公園地区) 多くの登山者や観光客に親しまれている丹沢山地の玄関口である式典会場は、丹沢の山々からの水が川となって流れ、山並みを背景に優れた景観を有する、雄大で、力強い雰囲気を持っています。 式典会場では、この雰囲気を活かした演出を行います。	プロローグ	ようこそ 都市と融和する 神奈川の森へ	○参加者を歓迎する気持ちを表現します。
	式典	森が育む あなたの心 森を育む あなたの手	○天皇皇后両陛下のお手播き、国土緑化功労者等の各種表彰、大会宣言、次期開催県へのリレーセレモニー等を行います。 ○大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を、メッセージとしてわかりやすく伝わるよう、演出・表現し、「かながわ森林再生50年構想」を全国に発信します。
	エピローグ	未来へ向かって響け あなたと森の ハーモニー	○地元団体をはじめとする多くの人が参加する一体感のある盛り上がり演出し、参加者を歓送します。

3 式典進行スケジュール

お手植え・植樹会場 (足柄森林公園丸太の森地区)		式典・植樹会場 (秦野戸川公園地区)		
時間	プログラム・内容	時間	プログラム・内容	
9:00	招待者入場 サービス広場の運営			
		9:20	招待者入場 サービス広場の運営	
9:50	プロローグ 歓迎アトラクション お手植え行事の案内	9:50		
			 お手植え会場から映像中継	
10:25	お手植え 天皇皇后両陛下 御着 お手植え苗木の贈呈 天皇皇后両陛下 お手植え 代表者記念植樹 天皇皇后両陛下 御発			
10:50	エピローグ アトラクション			
11:15 2会場連携セレモニー(双方向中継)				
11:20		11:20	プロローグ 歓迎アトラクション 式典行事の案内	
			 式典会場から映像中継	
		11:45		式典 天皇皇后両陛下 御着 開会のことば 三旗掲揚・国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 天皇皇后両陛下 お手播き アトラクション 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下 御発
		12:26		エピローグ アトラクション
13:10	招待者退場	13:10	招待者退場	

1 基本的な考え方

- 植樹行事の実施にあたっては、「かながわ森林再生50年構想」に示した森づくりの方向と、植樹会場の地域特性を考慮し、「広葉樹林の再生」、「人工林から混交林への転換」及び「人工林の再生」を目指した森づくりを行います。
- 県民との協働による森林づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、苗木の育成や植樹行事への協力などに、多くの県民が参加できるようにします。
- 植樹行事に使用する樹種は、本県の自然条件にあった在来のもので県民に親しみのあるものなどを選定しました。

2 お手植え樹種

天皇陛下 お手植え樹種	 ケヤキ	 スギ(無花粉)	 クヌギ
皇后陛下 お手植え樹種	 ヤマザクラ	 イロハモミジ	 シラカシ

3 お手播き樹種

天皇陛下 お手播き樹種	 ブナ	 スダジイ
皇后陛下 お手播き樹種	 コブシ	 ヤブツバキ

4 代表者記念植樹

- 代表者記念植樹は、足柄森林公園丸太の森地区で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に、代表者それぞれが1本の植樹を行います。
- 代表者記念植樹に用いる樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じものとします。

5 参加者記念植樹

参加者記念植樹は、足柄森林公園丸太の森地区では20種及び秦野戸川公園地区では22種、それぞれに設けられた植樹会場で、一人1本以上を植樹します。

1 基本的な考え方

- 招待者・関係者などすべての人々が安全で快適に過ごせる会場を整備します。
- 行事が円滑に運営される快適な施設と動線を整備します。
- 既存施設を有効活用し、リユース可能な製品を多用した経済的で環境に配慮した会場を整備します。

2 施設イメージ図

(1) お手植え会場（南足柄市）

お手植え会場は、箱根外輪山の北東に位置する森林地域にあり、約1,000人の招待者を収容できる施設を整備します。

お野立所は、この風景に合う山小屋をイメージした勾配屋根を採用します。



お手植え会場イメージ図



【お手植え会場 お野立所イメージ】

(2) 式典会場（秦野市）

式典会場は、丹沢山地の南に位置し、丹沢の山々から流れる水無川の自然を生かした都市公園で、約4,500人の招待者を収容できる施設を整備します。

お野立所は、この公園のシンボルである風の吊り橋からヒントを得て、風にはらんだ帆をイメージしたアーチ形状の屋根を採用します。



式典会場イメージ図



【式典会場 お野立所イメージ】

1 基本的な考え方

宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルート等を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。

2 宿泊計画

招待者の宿泊施設は、交通の利便性や快適性等を考慮して、実行委員会が指定します。

3 輸送計画

- 招待者の輸送は、バス・鉄道を基本とした計画を作成し、安全・快適・円滑に実施します。
- 必要な輸送機関の確保は、県内のバス会社・タクシー会社の協力を得て手配します。

■お手植え会場・式典会場周辺のバス輸送ルート



4 視察計画

招待者を対象に、神奈川県豊かな自然、観光名所、歴史、文化等を紹介できるように視察コースを設定します。

1 基本的な考え方

- 神奈川県全体を全国植樹祭のステージとして、多くの県民に参加していただき、全国植樹祭で発信する神奈川県の森林再生の取組を広く理解していただけるようサテライト会場を設置します。
- サテライト会場で実施するイベントでは、各地域で活動する方々と協働し、地域の特性に応じた森林再生の取組を発信します。
- イベントの実施については、環境に配慮して運営します。

2 開催概要

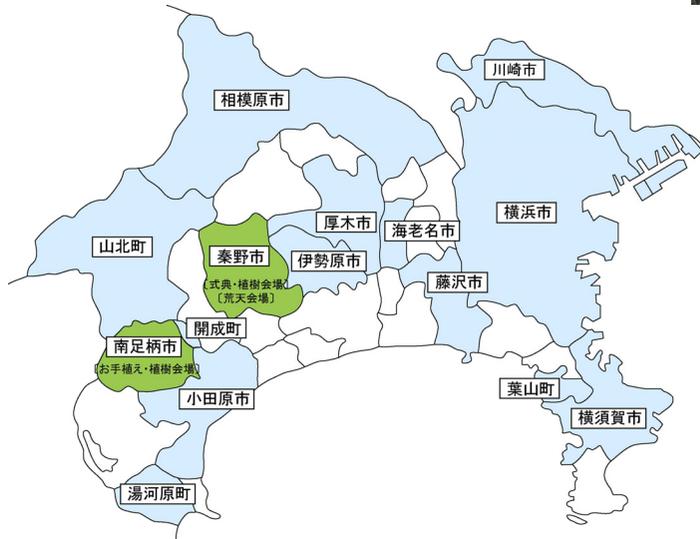
①開催期日

平成22年春季

■第61回全国植樹祭開催4ヶ月前から当日までの間



②各会場詳細



会場	コンセプト	開催日	場所	来場者数
横浜会場	市民による緑豊かな環境づくり	全国植樹祭開催日	未定	1千人
川崎会場	市民が進める多摩丘陵の森づくり	平成22年5月中旬	未定	5千人
横須賀・葉山会場	人を育て、人が憩う 次世代に引き継ぐ森づくり	平成22年5月上旬	湘南国際村	2千人
藤沢会場	みんなで育てよう 「湘南藤沢の緑と水」の街づくり	全国植樹祭開催日前日	引地川親水公園一帯	1千人
小田原会場	生活環境を守るふるさとの森づくり	①平成22年3月中下旬	①ふるさとの森づくり 運動実施箇所	2千人
		②平成22年4月下旬	②こどもの森公園 わんぱくらんど	
相模原会場	未来へ引き継ぐ水源の森林づくり	平成22年4月上旬	未定	2万人
厚木会場	潤いとやすらぎを感じられる 緑の街づくり	平成22年4月中下旬	未定	4万人
伊勢原会場	私たちの美しいふるさと 花と緑のまちづくり	平成22年5月上旬	伊勢原市総合運動公園	2万人
海老名会場	緑あふれる心のふるさと えびなの森づくり	全国植樹祭開催日	海老名中央公園 海老名市役所	4万人
山北会場	町民とつくる未来につなげる 美しい森づくり	平成22年4月29日	大野山山頂	3千人
開成会場	町民による緑あふれる 住みよい街づくり	全国植樹祭開催日を含む2日間	中家村公園	1千人
湯河原会場	四季彩のまちづくり	平成22年2月中旬	湯河原梅林公園 及び桜郷地区	1万人
				計 14万5千人程度

1 基本的な考え方

- 全国植樹祭の開催を契機に、「かながわ森林再生50年構想」を促進するため、県民、活動団体、事業者、市町村が一体となり、神奈川力をもって取り組みます。
- 全国に先駆けて、森林再生の取組を積極的に行ってきたNPO等とともに、さらなる県民運動の発展を目指します。
- 全国植樹祭の開催に関わるすべての参加者に、森林再生への参加を呼びかけ県民運動の広がりを目指します。

2 県民運動を促進する、神奈川力について

- 県民運動を促進するために、神奈川力を発揮します。
- 県民運動の積極的参加を促進し、参加された県民一人ひとりが、身近な人へ、伝え、発信し、県民全体への広がりを目指します。

※神奈川力

新しい時代を切り拓く「先進力」と、県民やNPO法人、企業など多様な主体と行政とが力を合わせて地域を支える「協働力」によって、神奈川の新たな時代を創造

3 運動の推進組織

- 第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会が、関連団体、事業者、市町村と連携、協働しながら、県民運動を円滑に推進します。
- 県民運動の軸になる関係団体の事業や、全国植樹祭にいろいろな角度で参加されるすべての県民が、運動を進める一員としての役割を担い、幅広く広がる組織を目指します。



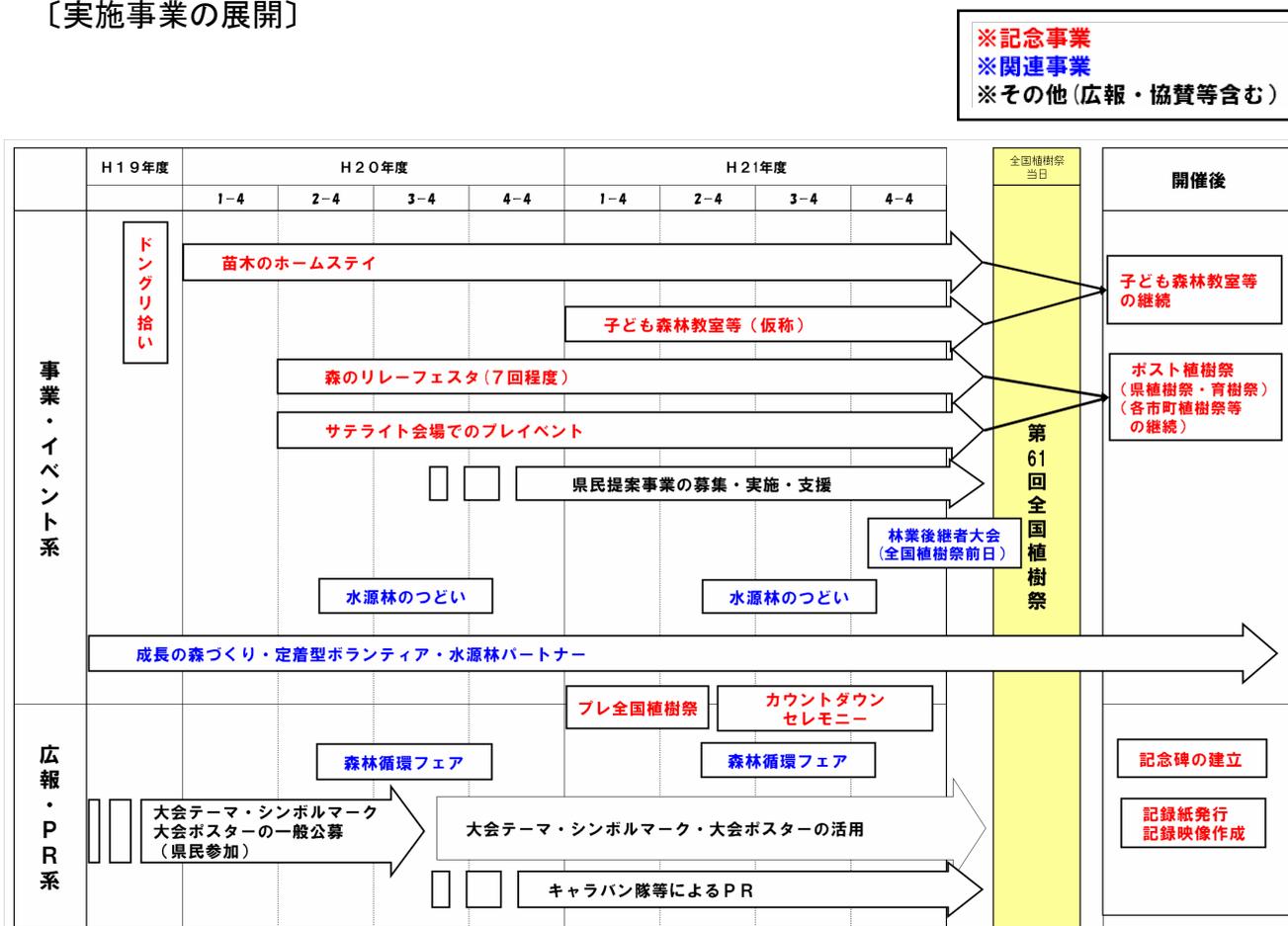
4 記念事業

プレ全国植樹祭、苗木のホームステイ、森のリレーフェスタなど、第61回全国植樹祭神奈川県実行委員会が主体となって行事等を実施します。

5 関連事業等

全国林業後継者大会、森林循環フェアなど、全国植樹祭の目的と関わりが深く、関連団体が企画・運営する行事等を実施します。

〔実施事業の展開〕



記念事業・関連事業等については、本計画に記載の事業の他、実行委員会や県主催事業をはじめ、開催会場である秦野市・南足柄市やサテライト会場の設置市町及び関係団体等の連携協力のもと、大会趣旨にふさわしい多くの行事等を展開し、全国植樹祭を盛り上げていきます。

1 基本的な考え方

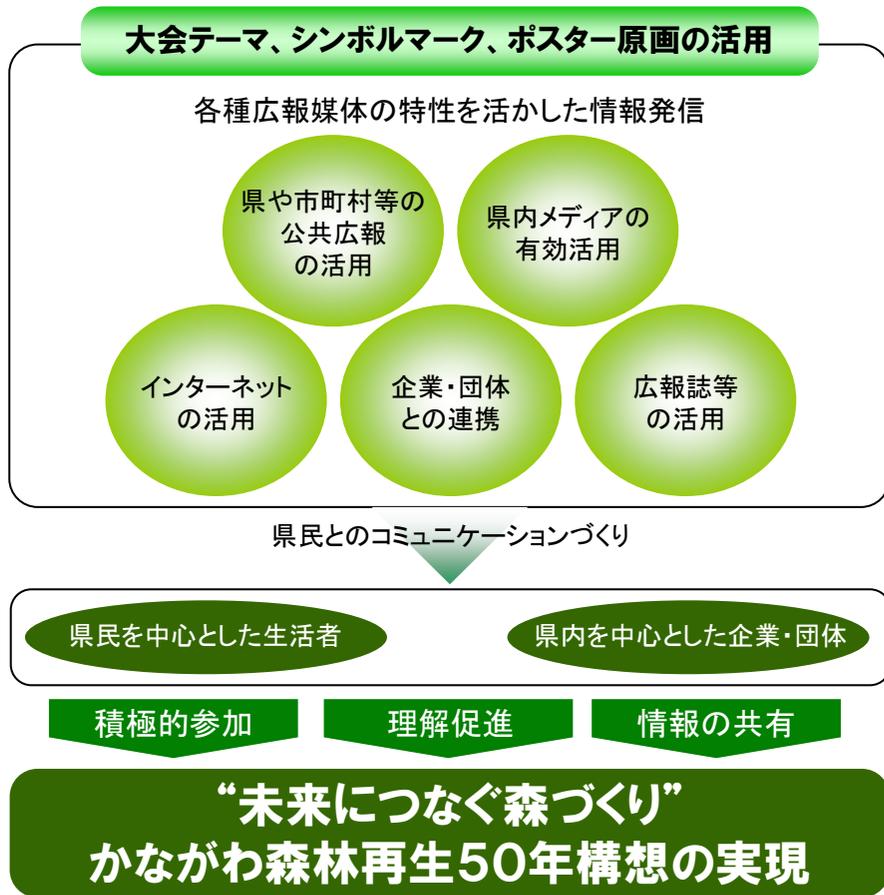
- 広報活動や企業協賛を通じて、大会の開催を広くPRするとともに、開催への機運を高めてまいります。
- これらの活動を通じて、神奈川の森林の現状やそれを再生していくための手段なども併せて周知し、森林づくりの県民運動への参加につなげてまいります。

2 広報計画

(1) 広報計画の考え方

各種媒体を活用し、わかりやすく、タイムリーな情報の発信により、全国植樹祭を周知するとともに、大会や県民運動への参加を呼びかけます。

(2) 広報の展開方向



3 協賛計画

全国植樹祭を一過性のイベントとして終わらせることなく、これを契機として県民運動を加速していくため、県内の企業や団体、個人に対し、広く支援を求めています。

かながわ森林再生50年構想

県内には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで約9万5000㍍、県土の40%近くを占める森林があります。今、この森林が、丹沢大山でのブナやモミの立ち枯れだけでなく、山地や里山まで県内各地で、手入れ不足などにより荒廃が進んでいます。

県では、前の世代から引き継いだ森林の様々な恵みを子や孫に手渡すため、50年かけて、皆さんとともに森林再生の取組を進めていきます。

広葉樹林の再生

- 丹沢大山では、ニホンジカによる下草や低木の過度の採食を防ぎつつ、後継樹を育成し、多様な樹種による原生的な自然林に誘導していきます。
- かつて薪や炭の原木として利用され、その後放置されている山地や里山の二次林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、多様な樹種からなる自然林に誘導していきます。
- なお、土壌流出の著しい溪畔林などでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

人工林から混交林への転換

- 林道から200㍍以上離れたスギ・ヒノキの人工林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、混交林や巨木林に誘導していきます。
- なお、急傾斜地や、周囲が人工林ばかりで広葉樹の導入が期待できないところなどでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

人工林の再生

- 林道から200㍍以内のスギ・ヒノキの人工林では、間伐を行い、木材として利用するとともに、伐採後は、花粉の少ないスギ・ヒノキや今後実用化する無花粉スギを植栽し、複層林などに誘導していきます。

50年後のめざす姿と主な取組み



【全体スケジュール】

年度	月	重要事項	主なイベント	広報等		
平成20年度	1月			大会テーマ、シンボルマーク等		
	2月	基本計画決定				
	3月		森のリレーフェスタ			
平成21年度	4月	実施計画(案)策定		企業協賛活動・キャラバン活動		
	5月		プレ全国植樹祭		森のリレーフェスタ	
	6月		●福井県大会参加			
	7月					
	8月		森のリレーフェスタ			
	9月		大会開催日決定			
	10月		カウントダウンセレモニー			
	11月		実施本部設置			
	12月				森のリレーフェスタ	
	1月					
	2月		実施計画決定			
	3月		各サテライト会場でイベント実施			
	平成22年度		4月			林業後継者大会
5月		第61回全国植樹祭				
6月						
7月						
8月			ポスト植樹祭の実施			
9月						
10月						
11月			大会理念の継承			
12月						
1月						
2月				●大会記録誌、記録DVD、記念碑の製作		
3月		●実行委員会解散				



大会ポスター原画 画題「温かい緑」

**第61回 全国植樹祭 基本計画〔概要版〕
平成21年2月**

神奈川県環境農政部森林課全国植樹祭推進室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
TEL 045-210-4373 FAX 045-210-8855
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sinrin/zensyoku/>

または、「第61回全国植樹祭」で検索してください。